

書名 科学と人間シリーズ 6 アジアから鉄を変える ―新しい鉄の基礎理論―
著者 長井 寿, 守谷英明
発行日: 2013年5月1日
体裁: A5版・242ページ
出版社: 東洋書店
定価: 本体 2,500円+税

近年、大学などで金属材料の勉強をしなかった、あるいは、受講の機会がなかったが、製造業に就職して鉄鋼材料に関わるようになったという現場技術者が多くなっていると聞く。そうすると、独学で鉄鋼材料について勉強したいというニーズの高まりを容易に想像できる。しかし、初学者が既刊の教科書を用いて体系だった理解を得るには、それ相応の努力が必要であり、かなりハードルは高いであろう。本書は、鋼の熱処理に関わる技術者の味方になることを意図した教科書の教養書である。著者の長井寿博士と守谷英明博士とが日頃から語っている鉄と鋼に関する理解や技術の進展について、現場技術者の目線を意識した対談形式にてまとめられている。縦書きというスタイルで語る本書は、一般の専門書や教科書と一線を画しており、鉄のエンジニア (= 科学も技術も使える人材) の育成に向けた著者らの期待と危機感も盛り込まれている。このユニークであり、かつ挑戦的な試みは、新たな知識を得る以上に、著者らの視点を通じて、鉄に関する知識を繋ぐ、あるいは知識を体系化するためのきっかけを与えてくれる。

本書は、3部構成になっており、鉄利用戦略と鉄の歴史、鉄-炭素系の金属物理、鋼の熱処理組織と熱処理技術の内容からなる。著者らの長年の研究開発や現場経験、そして何より深い洞察力と誠実な人柄を彷彿とさせる日頃のメッセージがそのまま届いているようである。専門用語の定義などに厳密性を欠く部分は散見されるが、初学者にも非常に読みやすく、日々の業務に多忙な技術者には特に有難い。タイトルにある「新しい鉄の基礎理論」とは結局何なのか、本書を手に取り、読み解いていただきたい。鋼の加工熱処理と顕微鏡組織に関する研究開発と新たな理解の進展にこそ、新しい鉄を生み出し、アジア(日本)から鉄を変える源流と今後があるとのメッセージは、これまで鉄鋼材料を専門としてこなかった技術者から、断片的な知識のままにあるすべての技術者や研究者、大学院生にお勧めする一冊である。

(梅澤 修)

NETSU SHORI

CODEN : NESHDF

ISSN 0288-0490

熱処理

材料と表面の改質

Journal of The Japan Society for Heat Treatment



一般社団法人 日本熱処理技術協会
THE JAPAN SOCIETY FOR HEAT TREATMENT

VOL.53
NO. 3
2013